

授業の具体的展開例

T では、あらすじをくわしくする方法や工夫について、グループでどのように話し合いましたか。

C はい。私のグループでは、まず、線を引いた言葉をカードに書き出して出し合いました。その後で、カードをいくつかの仲間に分けてみました。

C ぼくのグループでは、線を引いた言葉と、それがどんなことをくわしくしているのかを一人ずつ順番に発表しました。

C 私のグループでは、みんなが共通して線を引いたところを中心に意見を出し合いました。

T なるほど、いろいろな方法で話し合いができましたね。では、話し合った結果を学級みんなで整理したいと思います。どのように整理すればいいですか。

C 仲間に分けて整理していけばいいと思います。

C ぼくもそう思います。くわしくするために、どんなことが書かれているか、「様子」と「気持ち」に分ければどうでしょう。

C 私のグループでは、「会話」と「音」ということも出されました。

T では、とりあえず、「様子」「会話」「音」「気持ち」の四つに仲間分けしてみましょう。まず、「様子」を表すのは、どのような言葉でしたか。

C 「白んでくる」が朝の様子を表しています。

C 「にぎやか」が小鳥たちの様子を表しています。

.....

ここでは、話し合いの内容や結果を全グループに順に発表させることは、必要ない。個人が、グループでの話し合いを踏まえて発言することで、充実した話し合いを進めることができる。

整理する観点を児童に考えさせることで、論理的な思考力を育てることができる。

話し合った結果や内容を問う前に、どのような方法で話し合ったのかを問うことで、実践的な話し合う力を育てることができる。

板書例

あらすじ

あらすじをくわしくする方法や工夫を考えて、構成メモを書き上げよう。

物語

○早朝
○小鳥が来ておしゃべりする。
○ジョギングをする人が前を通り過ぎる。
○また、ベンチに座る人はいない。

早朝、周りが白んでくるころ、いつものように小鳥たちがやってきました。「おはよう。」
「お元氣。」
そうじの人が来る前に、えさをいっぱいみながらおしゃべりするの、にぎやかです。
タッタタッタと足音がします。若い男の人がジョギングをして、私の前を通り過ぎていきました。白い息をはきながら、気持ちよさそうに走っていきます。
まだ、私にすわってくれる人はいません。気持ちのいい朝だけれど、少しさびしいです。

＜ 様子 ＞ 白んでくる 「ぎやか」 白息

＜ 会話 ＞ 「おはよう。」 「お元氣。」

＜ 音 ＞ タッタタッタ

＜ 気持ち ＞ なごやか

本時の流れへ

単元の流れへ

評価問題

HOME